

※住田代表理事のカンボジア回顧録はお休みさせていただきます。

「授業発表会」での協力校からの報告

■ノッ・サバー副校長報告(研究概要の説明とSSFCの指導を受けたことについて)

①SSFCの3支援活動(奨学金・授業の仕方・教育環境の整備)の概略を説明。②指導力向上の4項目(先生の事前の勉強・授業の始めに生徒の興味を引き付ける方法を考える・生徒に考えさせる授業をする・生徒の理解度の目標と調査をする)について説明。今日の授業発表会に「今回の指導案」を用意したので、午後からの分科会で話し合いの材料にしてほしい。③SSFCの1年間の指導で、私も含めて先生全員の指導力が向上したと思う。

■ソクン・ティアリー先生(数学)報告(「生徒によくわかる授業の仕方」について発表)

①私は数学を担当しています。以前は学校の授業では分からない生徒が多く「塾に来る生徒に分かるようにすればいい」と考えていました。②SSFCの指導で「学校の授業で生徒全員に分かるようにする、塾の授業では、更にレベルの高い授業をする」、そうすれば、ランサイ中学の数学のレベルはシェムリアップ州1番になると言われ、私は納得しました。でもどのようにしたら、生徒全員に分かることが出来るか不安でした。③そこでSSFCから指導された「自作の教材(細い木で造った三角形や四角形)」を使って授業しました。④具体的な教材を用意して授業を始めると、生徒は興味を示して授業に集中しました。私自身がびっくりしました。⑤今は事前の勉強をして、具体的な教材を通して、生徒に考えさせる授業をしています。⑥日々自分の能力開発をしています。

■生徒代表から感謝の言葉

先生が僕たちによく分かるように教えてくれるので、塾に行かなくても授業が分かるようになりました。今は授業に集中しています。そして僕たち生徒で出来ることを進めています。遅刻をしないようにすることと、挨拶をすることをクラスで話し合いました。生徒会でも、校舎を綺麗にすることを決め、実行しています。

■「授業発表会」後の「担任の先生・参観の先生」からの主だった感想を紹介します。

①先生と生徒との関係が良く、先生を尊敬している雰囲気が授業に見られた。②生徒に考えさせる授業で、生徒に勉強する意欲を感じた。③授業だけでなく学校全体の環境や、生徒が誰にでも挨拶等する姿が素晴らしかった。④生徒の目が輝いた授業が出来た。⑤先生の詩の朗読が上手だったから、私も授業に引き込まれた。先生と生徒が1つになった良い授業だった。⑥初めは恥ずかしかったが、勇気を出して自分が踊り、生徒に踊りを教えたら自信がついた。⑦先生が努力すれば、生徒も付いてくることを教えてくれた。⑧授業を始める時、楽しさとぞくぞくする気持ちが混ざって、興奮した。⑨劇の授業は「生徒が活躍した授業」だった。「今は、早く学校に帰って授業をしたい気持ちでいっぱいです。

(住田)多くの先生たちにきっかけを提供できました。感謝。

◇ご支援をお願いいたします。

教育環境を整え、貧しい子に教育の機会を提供し、先生に指導力の向上のお手伝いをしています。SSFCの活動へのご支援をお願いいたします。寄附金のお振込みは、下記からお願いいたします。

■三菱UFJ銀行 神保町支店
口座番号(普) 0968555
■ゆうちょ銀行 00110-2-767497
口座名:公益社団法人 SSFカンボジア

詳しい解説・近況報告はSSFCホームページに掲載 ホームページ: <http://www.ssf.or.jp/> しております。ぜひご覧ください。右のQRコードからもアクセスできます。お問い合わせは、TEL: 03-6272-5717 FAX: 03-3511-5019 E-mail: info@ssf.or.jp



※活動内容の報告(バックナンバー)はホームページ「によにゅむ通信」にも掲載されますので、ぜひごらんください。

2018年成果発表会・特集号前編



ញឹម によにゅむは、カンボジア語で「笑顔」という意味です。

によにゅむ通信

2018年7月号 No.7

公益社団法人
Sumita Scholarship Foundation, Cambodia
(SSFC) 代表理事 住田平吉
〒101-0051
東京都千代田区神田神保町2-44
第二石坂ビル502
TEL: 03-6272-5717 FAX: 03-3511-5019
E-mail: info@ssf.or.jp
ホームページ: <http://www.ssf.or.jp/>

◆7月6日(金)アライン・ランサイ中学校で「よくわかる授業の成果発表会」が行われました。サイ・チャ・スホン州教育長は「シェムリアップ州の教育改革の第一歩が始まった」と絶賛!

今年の「授業発表会」が行われました。当日は、州教育長・郡教育長を始め、郡内中学校の校長と先生60人が参加しました。サイ・チャ・スホン州教育長は、「授業を参観して驚いた!先生の進歩が速い!授業が良くなった!シェムリアップ州の教育改革の第1歩が始まった!」と、大変うれい感想を下さいました。参観の先生たちも口々に「授業を見て感激した!私も直ぐに学校に戻って授業をしたくなった!」と興奮気味でした。



列席してくれた校長と先生たち

■サイ・チャ・スホン教育長の話

「これまでも何度かSSFCから先生の指導力向上の説明を受け、アライン・ランサイ中学の先生の授業が良くなった事を聞いていた。今日初めて授業を参観して驚いた。先生の進歩が早い。生徒も授業に集中している。よく発言して授業が活発だ。素晴らしいことだ。来年も続けて指導力を向上させて欲しい。参加した先生にも良い勉強になったと思う。」次は スレイビボケイ中学校がSSFCの研究協力校になる。良い研究をするには、先生全員の協力が必要なことは、今日の研究発表で分かったと思う。今日はシェムリアップ州の教育改革の第一歩だ。シェムリアップ州から教育改革の波を広げたい。」

■アライン・ランサイ中学校プローン・プロン校長の話

「予想以上に多くの先生が授業発表会にきてくれて、ありがとうございます。州教育長を始め、副教育長・郡教育長が授業を参観してくれたことに感謝しています。また、参観してくれた多くの先生にも感謝します。ランサイ中学校は、SSFCの指導力向上支援を受けて、先生たちの授業に対する考え方も姿勢も変わった。その結果、生徒が勉強に集中し、生活態度も良くなった。校長として非常にうれしい事です。SSFCに感謝しています。」

■住田代表理事から:国が発展し国民の生活が豊かになる基は教育です。教育のレベルを上げ、高度な専門知識を持った学生を育てて、産業を興さなければ生活は豊かになりません。日々「生徒によくわかる授業」を積み重ねて、生徒の学力をアップしてください。

■小林監事から:小・中学校には女性の先生が多く、このランサイ中学校でも女性の先生が多いです。真面目で勉強熱心です。女性が仕事を成功させるには、男性の何倍も努力をしなければなりません。幸い先生方の良い指導は生徒にすぐ反映され、結果として現れます。男女差別はありません。今日の授業も素晴らしかったです。



挨拶するサイ・チャ・スホン州教育長



挨拶するプローン・プロン校長



州・郡の教育長とSSFC職員

ホームページ: <http://www.ssf.or.jp/>

■先生全員が朝から授業を公開

「指導を受けて良かった。授業に自信を持てるようになった。生徒によくわかる授業が出来た。満足して、充実した気持ちでいっぱいです。」



当日は丸1日かけて、13人の先生全員が授業を公開、その後全体説明会・教科別分科会を行いました。公開授業は、全員分は載せられませんので、後半(9名分)は8月号で紹介します。



■プローン・チャイ先生 磁力についての授業(実験で具体的に)

授業：①棒磁石とU字型磁石・砂鉄の入った薄いプラスチック板を生徒に見せる②生徒は初めて見る磁石に興味を持ち、授業に集中する。③生徒に、2つの磁石をプラスチック板の砂鉄に近づける実験をさせる。2つの極に砂鉄が集まり、砂鉄の線(磁力線)が出来る事を教えた。④班の代表4人に交互に実験をさせ、生徒の理解を深めた。形の異なる磁石でも同じであることも分かった。⑤方位磁石4つを見せ、磁針がどれも同じS極を指している事を生徒に解らせた。⑥地球儀を見せ、地球にもS・N極があることを教えた。

■住田の感想：磁石を使った授業は大成功。方位磁石と地球儀(SSFC寄贈)を使って、地球にも極があることを教えた。参観の先生にも勉強になった授業だと思う。物理では生徒に理解させるのに、実験道具が必要なことを、先生たちは痛感したと思う。SSFCの研究協力校には、実験道具を用意し、実験の仕方を教えるようにしたい。



■トリー・チャンラー先生 国語:カンボジアの詩の授業(先生が手本を示す)

授業：①先生がゆっくりと詩を朗読することから授業は始まった。生徒も参観の先生も真剣に聞いている。②3人の生徒が、先生をまねて詩を朗読する。生徒各自も小声で読む。③先生が詩の意味や難しい言葉を教え、詩の内容を理解させる。④生徒に感情を込めて詩を朗読させる。⑤先生が詩を歌にして歌う。先生の歌う歌がうまい。⑥皆の前で歌いたい生徒が次々に出る。生徒が、恥ずかしがらずに感情をこめて歌う。参観の先生たちも興味を示し、小声で歌い始めた。⑦全員で歌を歌って授業は終わった。

住田の感想：先生が詩を上手に読んで手本を見せたので、生徒も上手に読めた。事前の指導では、先生は恥ずかしがって歌うことをためらっていたが、家で練習して自信を持ち、詩の意味を理解して感情を込めて読んだ。生徒は聞き入っていた。生徒の読み方も格段にうまくなった。先生が実践することが大事なことを分かったと思う。先生が自信をもって指導した。「生徒によくわかる授業の仕方」を示した良い授業だった。



■ラム・ヤー先生 国語・カンボジアの踊り(事前の準備を万端に)

授業：①先生は「カンボジアの踊りの絵」を黒板に張り、「絵(指の動き)」の説明をして、生徒から質問をうける。②先生が黒板に「指の(動きを表した)絵」を8枚張る。③生徒に「数字カード」を配る。④生徒は「数字カード」を「指の絵」の回りに貼る。⑤先生は「指の絵」と生徒が張った「数字カード」が合っているか調べる。⑥生徒は「先生の動きと指の絵」に集中している。指の動きをまねる生徒もいる。⑦先生は正解と指の動きを教えた後、実際に「踊り」を教える。⑧グループ代表の女生徒が前に出て、先生を真似て踊り始める。歌いながら踊る男の子も出てきた。生徒全員手拍子を始める。⑨指の形を意識して、4つのグループが交互に前に出て踊り、生徒は手拍子でもり上げる。⑩参観の先生も踊りに加わり、授業は大いに盛り上がり終わった。

住田の感想：先生の授業に対する事前の勉強と準備が良かった。生徒の興味を引きつけ、指に踊りの意味が含まれていることを理解させた。先生が実際に踊って手本を示したことも素晴らしい。歌の上手な生徒が歌い、生徒全員踊ったことで、授業は多いに盛り上がった。民族舞踊の基本を教え、考えさせ、関心を高めた模範的授業の1パターンを示した良い授業だった。



■シェット・ティー先生 国語・山の火事物語の授業(先生が事前に内容を把握することが肝心)

授業：①「山の火事」の「あらすじを書いた絵(津波・働く村人・山の上の主人公)」を黒板に貼り生徒に見せる。迫力ある津波の絵だ。②先生が物語を暗記して感情を込めて話す。生徒全員聞き入る。③先生が話した物語を聞き、絵と比べてわかったことを発表させる。女生徒が長い感想を言う。④物語の中心になる、「津波が村を襲うのに気が付かない村人に知らせることができない主人公の焦る気持ち」、「米が実った稲束を燃やす決断をした時の主人公の葛藤」、「山の火事に気づき村人が山に登ってくる時の主人公の気持ち」、「命は助かったけど、1年分の食糧の米が燃えてしまった時の村人の気持ち」などを生徒に考えさせ、発表させた。⑤生徒が代わる代わるそれぞれの気持ちを動作と言葉で表現していく。⑥生徒がそれらを劇にして発表した。生徒たちは実際に稲(わら)を燃やして山火事を演出した。演ずる生徒も見ている生徒も熱中して授業は盛り上がった。

住田の感想：先生が物語を暗記して、感情をこめて話したことは、生徒に物語の情景を思い浮かばせ、主人公の気持ち・村人の気持ちを考えさせる 非常に良い授業になった。描き直した津波の絵も迫力があり、村人が農作業に励む絵も日常と変わらぬ生活をよく表し、山の上で焦る主人公の絵も、物語の情景を考えさせるのに役立った。生徒は劇化した中で、4つの場面の村人と主人公の気持ちを動作と言葉でしっかりと表現できた。生徒同士の教え合いもあり、劇をしたことで授業は大いに盛り上がった。

